

基本理念、目指す学校像、育てる生徒像、教育目標（案）

現在の庄内総合高校の教育目標、「新学習指導要領」及び「第6次山形県教育振興計画」等を検討の視点とした。

1 基本理念

①変化の激しい社会を、心豊かに、たくましく生きる人間の育成

現代社会は、グローバル化や情報化をはじめとする加速度的な変化の中にあります。このような社会においても豊かな心を失わず、変化に対応し、たくましく生きる人間の育成を目指します。

②学校と地域の連携・協働、開かれた学校づくりの推進

地域の方々の協力を得ながら教育活動の充実を図るなど、地域社会との連携・協働を深めます。また、学校が地域社会と接点をもち、人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる開かれた学校づくりを推進します。

③自分にふさわしい学習時間帯や学習形態の選択が可能な教育課程の提供

3課程を併設している利点を生かし、多様な生徒がそれぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる教育課程を備えた新しいタイプの学校をつくります。

（1）目指す学校像

①全日制、昼間定時制、通信制を併設し一体的な学校運営をすることで、多様な学習ニーズに対応できる高校

ア 3つの課程を併設し、将来の進路目標や生活の状況等に応じて学習時間帯（一日または半日）や学習形態（学校での授業または通信添削による授業）を選択できるようにします。

イ 3課程併設校という学校規模を生かし、習熟度に応じた選択科目における少人数指導や、通信制における個別指導等を通して、基礎学習を充実させ、「学び直し」へも対応します。

ウ 異なる課程間において相互の科目の履修ができるようにします。そして、これらの活用により、定時制では全日制と同じく3年での卒業が可能になり、通信制では単位修得の機会が広がります。

②生徒の多様な進路を実現する高校

- ア 全日制及び定時制では、総合学科の特色を生かし、共通教科と専門教科から豊富な選択科目を開設し、大学等への進学や就職などに幅広く対応します。
- イ 通信制では、通信制の特色を生かした学習指導や、生徒の多様な能力・適性に応じた指導の充実を図ります。また、定通併修を活用することにより総合学科で開設される専門教科の履修も可能とします。
- ウ 自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるキャリア教育を積極的に推進します。

③社会に開かれ、地域と連携し、地域に貢献する高校

- ア 地域資源を生かした学習を充実させるとともに、地域と密接に関わりながら地域を活性化するなど地域貢献にも努めます。
- イ 自然体験やインターンシップ、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、実習・調査・研究、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れます。

(2) 育てる生徒像

①多様性を尊重し、豊かな人間性を備え、思いやりの心や人との関わりを大切に する生徒

- ア 互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、思いやりの心と生命や人権を尊重する心をもつ生徒を育てます。
- イ 進んで他者と協働する姿勢をもち、他の課程の生徒と交流したり地域や社会に積極的に参画したりなど、様々な人々との関わりを大切に育てます。
- ウ 特別支援教育を推進し、生徒同士の学び合いや助け合いを通して生徒のもつ多様な能力を高め、互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会を担う生徒を育てます。

②社会の変化に対応する資質や能力を身に付け、自己を理解し、自らの進む道を 切り拓くことができるたくましい生徒

- ア 急激な社会変化や様々な課題に対応し、主体的に生きていくために必要な資質や能力を身に付けるために努力する生徒を育てます。
- イ 変化する社会の中で、自分のよさや可能性を認識した上で、自分にふさわしいキャリアを形成し、自らの人生を切り拓くことができる生徒を育てます。

③自己を向上させようとする高い志と生涯にわたって活躍する意欲をもち、よりよい社会の創造に貢献できる生徒

ア 生涯にわたって学び続け、自己を向上させようとする高い志をもち、地域や社会の中で生涯にわたり活躍する生徒を育てます。

イ 学校の中だけでなく身近な地域を含めた社会とのつながりの中で学ぶことで課題を見だし、自らの社会をよりよく変えていこうとする生徒を育てます。

(3) 教育目標

①多様な活動を通して、他者を思いやり郷土を愛する豊かな人間性を備えた生徒を育てる。

②基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、社会の変化に対応し自らの進む道を切り拓くことができる生徒を育てる。

③他者との協働的な学習や活動を通して、多様性を認め合い、何事にも主体的に取り組む生徒を育てる。